

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援Report野火止教室

公表日 令和6年12月 24日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0		・特に運動遊びのときには接触や転倒に気をつけるようにします。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	・時々職員が多い時がある。	・お子様の安全を確保することを第一に職員の配置を行っていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	・統一された絵カードやスケジュールボードなどがあると良い。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・こまめな清掃・消毒がされている。	・日々の清掃だけでなく、普段掃除できない箇所も計画的に清掃を行っていきます。 ・体調管理のため、加湿器やサーキュレーターなどの導入を検討します。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・子どもがクールダウンしたときに、すぐ使用できるようになっている。 ・使っていいことを見える化できると良い。	・各部屋に掲示をしています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	・職員間で適宜話し合いや振り返りの時間をこまめにとっている。 ・パート含め振り返りに参加できている。 ・教室や支援の課題、目標について話し合い振り返りが出来ていると思う。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・常にどんな活動をやりたいか話し合うなど提案できる雰囲気がある。	

	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	・分からない。 ・第三者評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・パートも研修に参加する機会が欲しい。	・参加できなかった職員には、後日に資料を渡して説明を行っています。都合上参加できない場合には、リモート会議などの方法を検討していきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・公表については本年度中に行う。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・保育士、専門職等が会議に参加できるようにしている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・より詳細なアセスメント内容をシート化すると良い。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		・
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・毎回それぞれ別の職員が話し合ってプログラム立案を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・好きな遊びやヒットした支援内容はブラッシュアップして再び楽しく活動できるようにしている。 ・子どもの成長発達に合わせている。 ・各教室で活動を共有し、活動の幅が広がっていると思う。 ・各職員が意見を出しやすいミーティングを行っている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・毎回注意点や支援内容を確認してその日の支援に入っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	・良かった点や気を付けるべき点などを話し合うことができている。 ・子供の状態が共有できるよう努めている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・今後指導員が参加しても良いと思う。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	・保育園や幼稚園と電話でのやり取りなどで情報共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	0	・分からない。	・保護者様や学校より依頼があった場合に、情報共有をおこなっております。今後は指導員とも内容を精査していくようにしていきます。
関係機関や	28	(28~30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				

保護者との連携

29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答)				<ul style="list-style-type: none"> ・個別のケースについて助言を求める機会はないが、自立支援協議会のケース検討などに参加しています。 ・定期的に専門家（開所時よりお世話になっている発達支援アドバイザー）より助言をいただいています。
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	1	・分からない。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	<ul style="list-style-type: none"> ・公園等で交流する機会はある。 ・地域の保育園などと公園を共有して使う際に関わりがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園等で交流することがあるが、幼稚園や保育園の先生方にレポートや児童発達支援の内容を知ってもらう機会となるよう、働きかけを行っています。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・良いところやその日気が付いた点などを伝えられている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4		・保護者間で交流する場やベアトだけでなく、個別で相談したいという考えの保護者様を想定して、保護者様のニーズに沿った相談の場を提供していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・InstagramやHPにて積極的に発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3		・お子様の安全などを考慮すると、教室に招待することには慎重に検討する必要があります。地域で児童発達支援へのご理解が得られるよう、関係機関との連携などを行っています。
非常時等の	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・より多くの児童が経験できると良いと思う。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・指示書はもらっていないが、初回のアセスメントやその後の面談などで確認をしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・分からない。	・昨年より安全計画を作成して、それに準じた研修、訓練等を行っています。保護者様や職員に分かりやすいものを周知していきま

対応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2	・分からない。	・分からない。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1		<ul style="list-style-type: none"> ・研修会と委員会の開催を定期的に行っています。 ・職員間での意識を高められるよう、内容を検討していきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1		<ul style="list-style-type: none"> ・恒常的に身体拘束を行うお子様はいません。 ・外出時の車道への飛び出しなど、危険な場面を改めて職員間で確認して、これからも身体拘束をしないで済む支援をしていきます。